

死刑囚6人との対話が始まる。

8月25日(日)

開演 12:30

～死刑と更生
について考える～

ゲスト:佐向大監督

場所:山梨県立文学館講堂

参加無料

教誨師

大杉 漣

玉置玲央 烏丸せつこ 五頭岳夫 小川 登 / 古館寛治・光石 研

教誨師とは、
受刑者の心の救済につとめ、
彼らが改心できるよう
導く人。



製作:TOEKICK★12 ライブラリーガーデン オフィス・シロウス
エグゼクティブプロデューサー:大杉 漣 狩野洋平 押田興将 | 製作プロダクション:オフィス・シロウス
配給:マーメイドフィルム コピアボア・フィルム | 宣伝:VALERIA マーメイドフィルム | ©「教誨師」members

監督・脚本:佐向大

<http://kyoukaishi-movie.com/>

主催  山梨県弁護士会 共催:日本弁護士連合会 関東弁護士会連合会

映倫

©「教誨師」members



プロテスタントの牧師、佐伯保（大杉漣）。彼は教誨師として月に2回拘置所を訪れ、一癖も二癖もある死刑囚と面会する。無言を貫き、佐伯の問いにも一切応えようとしない鈴木（古舘寛治）。気のよいヤクザの組長、吉田（光石研）。年老いたホームレス、進藤（五頭岳夫）。よくしゃべる関西出身の中年女性、野口（烏丸せつこ）。面会にも来ない我が子を思い続ける気弱な小川（小川登）。そして大量殺人者の若者、高宮（玉置玲央）。佐伯は、彼らが自らの罪をしっかりと見つめ、悔い改めることで残り少ない“生”を充実したものにできるよう、そして心安らかに“死”を迎えられるよう、親身になって彼らの話を聞き、聖書の言葉を伝える。しかしなかなか思い通りにはいかず、意図せずして相手を怒らせてしまったり、いつまで経っても心を開いてもらえなかったり、苦難の日々が繰り返される。それでも少しずつ死刑囚の心にも変化が見られるものの、高宮だけは常に社会に対する不満をぶちまけ、佐伯に対して一貫して攻撃的な態度をとり続ける。死刑囚たちと真剣に向き合うことで、長い間封印してきた過去に思いを馳せ、自分の人生とも向き合うようになる佐伯。そんな中、ついにある受刑者に死刑執行の命が下される……。

教誨師とは

刑務所や少年院等の矯正施設において、被収容者の宗教上の希望に応じ、所属する宗教・宗派の教義に基づいた宗教教誨活動（宗教行事、礼拝、面接、講話等）を行う民間の篤志の宗教家である。

平成29年末現在の矯正施設にける教誨師の人数は約2,000名であり、そのうち仏教系が約66パーセント、キリスト教系が約14パーセント、神道系が約11パーセント、諸教が約8パーセントとなっている。

参加費：無料(事前申込可)

二次元バーコードから予約可

(席の指定はできません。)



【タイムスケジュール】

12:35 上映開始

14:50 トークセッション

ゲスト

佐向 大 監督

野口 善國 弁護士

(兵庫県弁護士会所属・元刑務官)



問合せ：055-235-7202(山梨県弁護士会)
※土日はずなかりませんのであしからずご了承ください。

2024.8.25(日)

12:30-16:30

場所：山梨県立文学館講堂

(開場 12:00~)

定員：500名

※定員に達し次第、申し込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。

※駐車場が混みあう場合がございます。公共交通機関のご利用もご検討ください。